
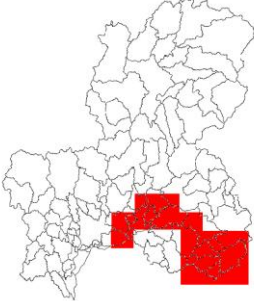


ウキヤガラ	<i>Bolboschoenus fluviatilis</i> (Torr.) Soják subsp. <i>yagara</i> (Ohwi) T.Koyama	絶滅危惧Ⅱ類
		カヤツリグサ科
選定理由	分布域の多くは生育環境が変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫にさらされている。	写真(村瀬正成) 
形態の特徴	大型の抽水性多年草。茎は高さ1-1.5m、葉は下につき長く伸び基部は肥厚する。花序は頂生し、小穂は長楕円形。	
生態的特徴	湿地や池沼などの浅い水中にはえる。	
分布状況	北海道から九州に分布する。岐阜県では県南東部に分布する。	
減少要因	生育地の埋め立て、改修。湿地植生の変化による乾燥化や他の植物からの被圧。	
保全対策	湿地の保護、保全や、ため池改修時の生育環境維持活動。	
特記事項		
参考文献		
		

文責:村瀬正成